

自己評価結果公表シート（令和7年度）

学校法人育保学園 くまのだ保育園

1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるような環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・保育者の資の向上
- ・保育環境の充実
- ・保育の可視化
- ・業務の効率化

4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
○保育者の質の向上	<ul style="list-style-type: none">・その時その時の課題や疑問等、ミドル職員が現状に沿った内容を出し合い、会議の議題としてきたことで、より現場の職員が興味関心のある内容について話し合うことができた。また、事前にクラスで話をまとめて発表する形ではなく、その場でグループ討議等を行うことで、同じ職員ばかりではなく、一人ひとりが意見を発表する機会を作る事ができた。・行事等、すべきことはある程度意識して引継ぐことができるようになっているが、その中にある思いが伝わっていない場合があった。保育への思いが薄れることがないように毎年初心に戻り、話し合いの際にはしっかりと伝え合うようにしたい。また、職員一人ひとりが担当内容に責任を持ち、記録をとることや次に引き継ぐことを意識していきたい。・毎月自由あそびの話し合いを行い、遊びの変化や姿を表にまとめていくことで、その時の様子の伝達だけでなく、継続して遊びを見る意識が持てるようになってきた。しかし、書き方に統一性がなく変化が分かりにくいところがあった為、書き方を考えていく必要がある。・サーキットに関しては、積極的に毎日の環境の中に取り入れることができているが、クラス毎に考えている所が多い為、共有できる場所は共有することでより良い環境が整えられるようにしたい。・定期的にクラスの子ども達の様子をスライドショーにして流す機会を設けてきたことで、子どもの様子を伝えるだけでなく、親子の会話のきっかけにもなった。クラス毎の具体的な日程が決まっていなかったこともあり、準備が遅れることが多くあった為、見直しを持って作成できるよう、工夫が必要である。・毎月のクラスの様子や個々の子ども様子を記録し、ポートフォリオを作成した。1年の成長も分かりやすく、保護者の方と一緒に作成したことで、成長を共有することができた。・保育の記録を電子化したことで、書類作成の際に訂正等の時間を短縮する事ができた。しかし、入力ミス等が多い為、しっかりと確認していく必要がある。・ICTの導入で保護者との連絡事項については負担の軽減にはなったが、日々のデータ入力や確認作業に時間をとられることが多くあった。
○保育環境の充実	
○保育の可視化	
○業務の効率化	

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
○保育者の質の向上	<ul style="list-style-type: none">・キャリアアップ研修は積極的に受講できているが、その他、様々な分野の研修については受講する機会が減っている為、受講意識が高まるよう、積極的に紹介すると共に、受講しやすいよう、勤務調整を行っていききたい。・各クラスに環境ガイドラインを常備すると共に定期的に話し合いの機会を設け、積極的に活用していききたい。・前日のミーティングで自由あそびの準備物を伝え合うことで、しっかりとねらいを持って環境を整えられるようにしたい。また、サーキットに関しては、意識して自由あそびや室内などいろいろな場所で取り入れる事ができているが、準備する担当によって偏りがある為、写真に撮る事で職員皆が同じように環境を整えられるようにしたい。・カレンダーに年間のスケジュールを記入し、配布することで、全クラス計画的にスライドショーを行えるようにする。・ポートフォリオで、毎月クラスや個々の子ども様子を伝えているが、クラス全体としてのねらい、伝えたいことが十分に伝えられていないと感じることがある。ポートフォリオ以外のお便りや日々の展示物でより具体的にその時期の子ども姿や園としての保育の思いを伝えていきたい。
○保育環境の充実	
○保育の可視化	